

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	利用者さんの個性を大切にしながら、掲示作品・個人レクリエーション等、常に努力をしているところです。 目に触れる位置にて、フロア内の掲示を実施してる。		推進会議の開催が中断しているので再開するようにする。
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念は常に目につきやすい所、来訪者の目につきやすい場所、スタッフルーム等に掲示し、日々の実施に結びつけるよう取り組んでいる。		その人らしさを常に尊重できるように、ミーティングや申し送り時に具体的な内容を話し合っている。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	毎月家族会を開催し、町内会長も協力的で町内回覧に催し物等掲載して頂いています。		地域の行事や活動には積極的に参加したり、近隣住民を招待したり、ボランティアも受け入れ、地域交流するよう努めています。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	玄関横にベンチを置き、気軽に休憩して頂けるように、庭には草花を植え、なごめる雰囲気にしたたり、挨拶はこちらから声をかけるよう努めています。		町内会の方とも顔見知りになり、散歩途中で草花を分けてもらったり、届けてくれることもあります。収穫した野菜を届けることもあります。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会に入会し、町内回覧を利用し、夏のエルム祭に気軽に参加して頂けるよう掲載し、館内も開放し交流の場となるよう心がけている。		エルム祭ではテントを使用し、ゆったり食事をしたり等お祭りを楽しめる空間を作り利用者さんとそのご家族および地域の方々との交流の場となる環境作りをしました。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町内清掃に参加しました。		近隣の病院より利用者さんの作品の展示依頼があり参加。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		<p>入居者の個性を活かし、今後も生き生きとした生活を営めるようさらに取組んでいきたい。</p>
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>西区のグループホーム連絡協議会の会議に参加したり、研修会等を通じ市の担当者と連絡を取る機会が多く、ともにサービスの向上に取り組んでいる。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		<p>研修などあれば参加して行きたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>		<p>ご家族が意見・苦情を伝えられる意見箱を設置してあります。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		<p>ご本人、ご家族を尊重し支援に努めるよう努力します。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に第三者窓口のポスターを貼り、ホーム以外の相談窓口の連絡先を表示してある。玄関に意見箱を設置し、ご家族が意見・苦情を伝えやすいような工夫をしている。利用者さん全員とホーム長・職員との話し合いを行なっている。		直接意見等を聞き、理解して頂いている。現在は苦情はありません。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月居室担当者より、ご家族へ手紙を郵送している。その都度ご家族への連絡事項があれば連絡し、面会時に相談・報告をしている。		ご家族に対して様子を随時報告し、安心していただける支援につながっている。面会時にご家族が話しやすい場を作っている。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族に電話連絡時や来所時に近況報告をした際の、意見・不満・苦情に関してはカンファレンス開催時に伝え検討しています。		直接意見等を聞き、理解して頂いている。現在は苦情はありません。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会議をもうけ、意見交換をしている。各フロア担当者の意見に偏ることなくそれぞれ意見を出し合い検討しています。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	柔軟な対応が出来るよう、全フロアの勤務調整を行い実施しています。ボランティア参加の調整も行なっている。		事務長を含め、各フロア勤務調整はスムーズに実施出来ています。
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動は少人数として、職員は日頃から他の階の利用者さんと交流を持つよう心がけている為、ダメージが軽減されていると思います。		勤務交代の期間が長くなり、利用者さんも安定している。日頃から行事等でフロア以外の利用者さんとの交流も多い為ダメージが軽減されている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修会及び勉強会を受ける機会の確保を行い、シフト調整する事でより多くの職員が参加できるように配慮している。		今後もより一層職員の意志を尊重しながらも、ホーム独自の教育研修も充実させたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同区の同業者との交流の機会を持ち、行事参加を積極的に行い、サービスの向上を目指し、職員一丸となり取組んでいる。		同業者のお祭りに参加したり、学習会や講演会に参加している。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員の勤務を配慮している。食事会等を行い、気軽にコミュニケーションをはかれるようにしている。		管理者に相談しやすく、お互いにねぎらいの言葉をかけ合い合っている。
22 向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	資格取得のための勤務変更など、できる範囲で行い、スキルアップに協力的である。		職員のレクリエーション、食事会などを通して話しやすい環境を作っている。管理者が状況に応じてスキルアップのための情報を提供している。
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。	入所前の面談から本人の思いをよく聴き、コミュニケーションを取りやすい関係を作り、安心感を得て頂いている。		入居者さんの背景を尊重し、出来る限り配慮と介護に努めている。
24 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。	ご家族が来所された時、一緒に食事をしたり、不安なことや困っていることがないかさりげなく声をかけ、話しやすい雰囲気を作るようにしている。		訪問時には、気軽に自由に時間を問わず過ごして頂き、気がまえずに話せるようにしている。宿泊も可能であり、声かけをしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ホーム長・事務長・ケアマネージャーを含めた臨時カンファレンスの開催、又ホーム長・利用者さん全員に参加していただき、話し合いの場をもうけ、協力を得る等フロア全体で本人や家族に対して支援している。		利用者さんを中心としたニーズを考えていますが、ご家族の身体及び精神的安定を第一に解決しなければならないケースも多々あり対応している。
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	職員、利用者さん全員参加の話し合いの場を設け馴染みながらのサービス提供を実施しやすい環境を作っている。ご家族に対して毎月、手書きの手紙を出し、近況を報告していることで理解も得られている。		家族的雰囲気になるよう、職員・利用者さんの協力のもと実施できている。ご家族が来所るときはそのつど近況を伝えたりご意見をうかがっている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	押し付けにならないよう、さりげない介護を行なうことで本人のプライドを傷つけないよう忍耐強く働きかける。本人の思っている現実に合わせて支援をする姿勢を心がけているので支え合う関係がきずけている。		本人にとって心地よいコミュニケーションがとれるよう心がけている。何がしたいのか、何を望んでいるのかを時間をかけて話し合い、対応している。
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	その都度ご家族と連絡を取り合い、確認しながらの対応を行い、支え合えるよい関係を築いている又、その関係を維持するよう心がけている。		ご家族の思いを受け止め、意見や考えを重点においた介護支援をしている。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族間のトラブル相談を受け理解に努めています。作品を本人と作り家族にプレゼントしている。日常生活に自然に参加していただき、その中で思いを受け止められるよう支援をしている。		ご家族間の窓口となり、利用者さんの支援に対してご家族間で意見の食い違いなどのトラブルが生じた時、仲介に入り、より良い家族関係となるよう心がけ実施している。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人の希望を尊重し提供している。個人レクなど本人の以前馴染みのある土地へ対応している。		居室に電話があり、連絡が取れるようにしている。自由に電話がかけられるようにしている。面会時はティータイム、食事を一緒にとれるようにしている。ご家族の宿泊ができるようにしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	毎日の生活の中で信頼関係を得られる場面作りを取組んでいる。人間関係作りに対して意図ある対応に努力している。		レクリエーション、行事の中で関わりを多くし個々の趣味をふまえた上で仲介しより良い関係作り努力している。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	年賀状、法要の時はお花を届けている。退所後もエルム祭への参加のお誘いしている。		今後も続けて行きたい。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の個性を活かし、思いや希望にそよよう家庭的な雰囲気が出るよう努め、買い物や習い事も希望にそい職員同行のうえ実施している。		今後もより一層お一人お一人を尊重し、意向の把握に努め検討して行きたいです。利用者さんの思いからウェディングドレス姿で写真撮影を行い喜んで頂いています。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人及びご家族の方から情報を頂いたうえで可能な方は近くのスーパーや馴染みの暮らしを継続する為、入居者さん同士で買い物に行かれたり、職員同行にて希望にそよ外出に努めている。		サービス利用等の把握に努めながら利用者さん皆さん平等に出来る限り希望に副えるよう今後も取り組み、楽しんで生活していただけるようにして行きたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人一人に合った暮らしをして頂ける様身体的及び精神的な把握に努めている。日常の中で絵画・パズル・編み物等の提案・提供をしている。		無理なく自然な日常生活を送って頂けるようさりげない支援と総合的な現状把握を怠らず続けて行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	より良く暮らしていただけるよう、利用者さんの背景等を尊重し、介護支援専門員・職員・看護師などと連携を取り、より良い支援が出来るよう取り組み、家族の面会時などにお話させていただいている。		取組んできた計画はほぼ達成できている。今後も更により良い介護支援に努めて行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	6ヶ月を目処に計画書の見直しを行い、ご本人・ご家族・専門員と現状に即した計画を作成している。又、急な変化があった場合も計画書へ記入している。		毎月のケース会議で意見を出し合い、介護支援専門員の管理のもと作成している。
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	毎日のチェック表への表示・記録・ケアプランのまとめを月ごとに行いカンファレンス時、活発に意見交換が行なわれ確実に実施活かされている。		毎朝全ユニットで申し送りを実施し、介護支援専門員、看護師の意見をもとに送りノートに記録し情報を共有し活かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	通院・入院対応・送迎等の対応、ご家族の宿泊、美容院、ドライブ、買い物等、移送、近隣住民からの相談窓口。		ご家族又は本人の希望により通夜・葬儀実施、終末期の入院、ご家族と利用者様食事会設定。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	防火訓練を通じ消防署連携が図れている。警察への協力依頼も必要に応じお願いし、町内の方にも会議に参加していただく等して協力をお願いしている。		地区センターとの交流が深まり、運動会等海上を借りることがある。研修会に積極的に参加するようにしている。
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	その都度話題にし、サービスの利用に努めている。		デイサービス等。
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	本人、ご家族の意見を聞き必要に応じ協働している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	2週間に1度の往診、通院の実施、看護師の配備、薬局との連携。		看護師による健康状態のチェック往診時採血とはじめ一般状態を把握。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	各専門医の協力の下、診断治療を受けている。		定期的な検査の実施、CT等その時々状態においてアドバイスして頂き対応支援。
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問看護師の協力を得る。看護職員の配備。		毎週1回訪問看護師が入り、日常の健康管理が行えている。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には面会に行くなどし、状態の把握、病院関係者より情報を得る事で適切に対処している。		相談しやすい体制を整えている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	本人とは普段日常の会話の中で情報を得る。ご家族と話し合う機会を設けている。		文章化し、全員で方針を共有できるようにしている。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	身寄りのない利用者様との事前の話し合い、希望の確認。医療、看護師との連携。		グループホーム内での葬儀の実施。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。			
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	言葉遣いや表情に気をつけ利用者さんに対して謙虚に対応するよう心がけています。		イニシャル対応、居室での会話、不快感を与えないように個人情報のとり扱いには充分配慮している。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	その都度声がけ、ジェスチャー等で働きかけ励ます事で本人の力になるような支援、自己決定を促す声がけ。		ゆっくりと話す場を設け、その人に合った声がけをし、自己決定の場が増えるよう取組む。
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の意思を尊重し、一人ひとりのペースを大切に、できる限り希望に副えるよう支援している。		どんな事がしたいか、どんな物が食べたいか、一人ひとりの意志を聞くことで希望が叶う様努めている。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	馴染みの理美容院スタッフが訪問してくれ、入居者さんに合った髪型、希望を取り入れている。清潔の保持、服装やアクセサリーの楽しみ。		馴染みの理美容院を利用している。化粧、アクセサリー、好みの衣服を選んで着用している。
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	季節の物や色使いに気をつけ、食欲がわくようなメニューを心がけている。可能な場合にはお手伝いもして頂いている。		一人ひとりの体調、食事の様子に合わせた献立を作り、食べやすい状態の保持、利用者さんの意見を取り入れたメニュー作り。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	一緒に買い物に出かけ、選んでいただいた食材による食事やおやつを提供しています。		出来る範囲での食事作りを一緒にする。利用者さんの出身地の名産品等で会話を楽しみながらティータイムや食事を楽しむ。
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	個々の排泄リズムに合わせ、声かけを促す。尿意が感じられない方には決まった時間にトイレに誘導することでトイレでの排泄につながっている。		常にパッドが必要な方に対してはかぶれの少ないメーカーを使用したり、夜間良眠して頂けるよう工夫している。
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	利用者さんの希望を大切に、利用していただいている。湯の温度や時間等も本人の好みに対応している。		いつでも入浴できる体制づくり。バスタイムでの1対1の会話も楽しめるよう対応。
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	リビングにはソファーベッドや両ひじあての付いた椅子を用意することでリラックスして過ごせる環境づくり。清潔な寝具の提供。		ゆっくり休んで落ち着けるような居室づくり。花を飾ったりすることで目や香りでリラックスしていただく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	洗濯物や掃除や食器拭き等本人の体調を見ながら協力していただく。散歩やショッピング。		本人の自信を損なわない程度での家事、得意分野での役割。お好みに応じたうた等DVDを楽しんでいただく。
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	自分での管理が難しい方がほとんどなので、ホームでの預かりの中で一緒に買い物に行ったりして希望に応じて手渡す。		訴えや希望を表現出来ない利用者さんに対しても本人の好物や必要に応じて下着や衣類等購入。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	本人の希望を尊重し対応している。		近所の散歩やショッピング等、状況に応じて車を用意したり、本人の希望をなるべく支援していただける体制づくり。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	利用者さんとの話し合いの中で希望を聞き、ケース会議にて職員と話し合い計画を立て家族に相談している。		季節を楽しんでいただけるよう、花見や紅葉狩りを企画している。個人の思い出の地など(出来る範囲で)いけるよう支援。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話は自由にかけることが出来る。個人によっては居室に専用電話を設けている方もいる。		電話はどこでも話せるコードレス対応なのでプライバシーも尊重している。手紙についても書けない方には代筆にて返事を出したり対応しております。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	訪問時にはゆっくり会話を楽しめるような環境とお茶を提供している。一緒にお食事や宿泊も可能である。		ご本人の最近の様子など日常の過ごし方をお話させていただいたり、ご本人が訪問者が誰なのかわからない場合にも不安にならない様声がけ支援しています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	契約書に記載しており、実際に拘束行為はありません。		職員での話し合いの場(ケース会議等)を設け、拘束行為の事例など話し合い拘束のない介護を実施しています。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	7:00～17:00まで玄関開放。 17:00～7:00まで施錠。		開放時間帯での徘徊のある利用者さんに対してはセンサーマットや見守りをして安全に努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	見守り重視しており、安全に過ごせる環境づくり。		音、様子、顔色、しぐさ等常に見守りの中での変化を見落とさないよう体調管理や歩行時の転倒事故の予防に努めている。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	洗剤類は手の届かない場所へ保管。はさみ、包丁などの刃物に対しても同様。使用する際は職員見守りしている。		管理場所については目隠し扉やカーテンで覆っている。管理は職員が明確に取り決めて実行している。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故発生時にはヒヤリハットを記入して、ケース会議等で皆で今後の予防策や反省点等を話し合っている。		事故発生時も24時間ホーム看護師が管理者との連絡をとれる体制をとっている。あわてず行動できるようマニュアルも作成。
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	救命講習会を受講している。緊急時の対応マニュアルを作成、提示している。		定期的に会議を実施している。職員個々での知識の向上に努めている。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	運営推進会議の場で町内会への協力を求める。		防災時の避難訓練や実際に消火器を使用したり、緊急時の対応を話し合う場を定期的につくっている。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	一人一人の身体能力に合わせた日常動作の中で日々考え対応している。又、予測できないリスクに対して話し合う場を設けている。		規制することなく、見守り重視に努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>		<p>夜勤時、AM3時に各階の職員間で利用者さんや職員の現状の連絡を取り、協力をしている(他の時間帯においても必要に応じて連絡を取っている) 起床時、職員2名での移乗を行なっている方の協力もしている。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		<p>温度板に個々の薬表をつけ、変更時のチェックをスムーズに出来るように配慮し、居室担当者は再チェックし連絡帳に記録し、職員全員が把握するよう心がけている。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>		<p>野菜中心の食事作りを心がけ、ホットパックや腹部・肛門マッサージ・リハビリ体操を行い、医師に相談し薬の変更をしたり、便秘に関しては改善されている。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>		<p>常に様子観察し、変化のあるときは早めに歯科往診を受ける。口腔ケアに関しては声かけ、一部介助や全介助にて実施している。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		<p>地区センターに献立をチェックしていただいている。個々に応じて粥、キザミ食の対応をしている。量についても持病により対応している。水分、食事量もチェック表に記録し配慮している。</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		<p>冷蔵庫・台所廻りはアルコール消毒・ブリーチ対応している。床・手すり・トイレ等をブリーチで清掃している。食事担当者は介護時のエプロンと取り替え作業している。口腔ケア・身体介護時は個々にグローブを使用し対応している。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>調理器具・台所廻りはアルコール消毒をしている。キッチンハイター・グロープ使用し対応している。食材も常に新鮮なものを使用している。</p>		<p>調理食材を毎食検食し、2週間は保管している。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>出入口の玄関を施錠している。花壇に色とりどりの花を咲かせ、畑に野菜作りをしている。玄関廻りや建物の環境整備に努めている。</p>		<p>夜間はオートロックで施錠している(日中は開放) 花壇園芸の草取り等を行なっている。</p>
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>四季を通し室内のかべを利用し、利用者さんの作品や行事等の写真を展示し、楽しんでいただいている。又、生花を利用者さんと一緒に楽しみながら生けている。</p>		<p>食堂には明るくゆったりとした空間があり、猫や犬の存在が利用者さんにとって癒しになっている。</p>
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>自分用の座布団や椅子を用意し、ゆったりとした雰囲気作りをしている。又、個々の趣味を楽しんでいただく。</p>		<p>食卓テーブルで自由に過ごすことができ、気の合った利用者さん同士でお茶を飲みながらゆったりと過ごされている。</p>
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みのベッド・布団・小物を居室に入れていただいている(仏壇)。心地良く過ごせるよう配慮している。</p>		<p>家庭的な雰囲気作りを努めている。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>定期的に窓を開けて、空気入れ替えや、換気扇を作動し、乾燥している際は濡れタオル等で対応している。</p>		<p>空調設備が整っている。風通しの良い環境づくりに心がけている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		<p>利用者さんの状況に応じて居室の環境を整備し、安全に生活できるように転落・転倒しない工夫をし、リビングにて安全に過ごせるようその日のうちに対応するようにしている。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		<p>いつも同じ場所にいる方に移動時の際声がけしてから実施している。常に困っている事はないか等の声がけをしている。</p>
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		<p>玄関先には花壇があり、好きな花を買って来て植えたり、畑やベランダ菜園をし、椅子を置いて自由に出入し、のんびりと楽しむことができる。洗濯物や布団を干したりするスペースがあり、家庭的な雰囲気になるよう工夫している。ホーム前で焼肉を楽しんだり、ベランダに椅子を置き外気を楽しめるよう工夫している。</p>

サービスの実施に関する項目		取り組みの成果
	項目	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない



サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

福祉の仕事ってどんな仕事か、介護士が日々入居されている方々の生きている姿を支えている真心の姿がどれだけ大切か。お互いスタッフのコミュニケーションを計る。

食事と食味栄養のバランス等調理に力を入れている。  
 利用者さんの発信する要望に敏感に対応する。  
 利用者さん本人家族の希望者は当ホームで通夜葬儀を行なわれている。